

常陸大津の御船祭

おふねまつり



(表紙写真提供：北茨城市観光協会)

アンコウなどが獲れる良港がある町として知られる北茨城市大津町。港を見下ろす唐帰山^{からかいさん}には、約1,200年前から佐波波地祇神社が鎮座し、海上の守護神として長年親しまれてきました。

「常陸大津の御船祭」は、佐波波地祇神社の春の例大祭として5年に一度、5月2～3日に、海上の安全と大漁祈願を込めて開催され、毎回、約15万人の観客で賑わいます。2017年3月には、国指定の重要無形民俗文化財として県内で3番目に指定されました。

5月2日の「宵祭」では、神社本殿から御輿に「御霊遷しの儀」が行われ、翌日の「本祭」には、神様を乗せた御輿が、華やかな装飾が施された木造漁船に乘せられ、「神船」として出発します。

全長14m、重さ7tの船には、神官や囃子、水主^{かみ}(歌子)たちが乗り込み、約500人の曳き手たちが約5時間をかけて諏訪神社から浜まで移動させます。

神船が市街地を渡御する際、丁字路を直角に曲がる様子は祭一番の見所であり、会場の盛り上がりは最高潮に達します。また、船の進行方向に敷かれた「ソロバン」と呼ばれる木枠の上を移動する際、船底と木枠が擦れて煙が上がったり、焦げた匂いがするのも迫力満点です。

5年に一度の開催となるこの5月、ご家族・ご友人とともに、勇壮な祭が繰り広げられる大津漁港周辺に足を運んでみてはいかがでしょうか。



◆場所：佐波波地祇神社（茨城県北茨城市大津町1532）境内および大津漁港周辺

◆アクセス：

【車】常磐自動車道「北茨城IC」から約15分、「勿来IC」から約20分

【電車】JR常磐線「大津港駅」下車後、車で5分、「磯原駅」下車後、車で15分、「勿来駅」下車後、車で15分

※5月3日(金・祝)のみ無料シャトルバスが運行(8:00～17:00まで20分おきに運行)

◆日時：宵祭：5月2日(木・休)13:00～21:00
本祭：5月3日(金・祝)7:00～21:00

◆問合せ先：

常陸大津の御船祭保存会：0293-46-8600

筑波総研株式会社 研究員 富山かなえ